宇和島地区

平成30年度　不法投棄防止パトロール

宇和島地区では、平成30年９月29日㈯南予地方局管内において、廃棄物の不法投棄を未然に防止し、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るため、不法投棄されやすい鬼北、三間、吉田町の山間や愛南、津島町の海岸線を中心に不法投棄防止パトロールを実施いたしました。

今回のパトロールでは、山間のガードレールが途切れた急斜面やドライバーが車を止め休憩ができる道路沿いに不法投棄ごみが確認されました。

当管内においては、地域住民の環境意識の向上に伴い、年々不法投棄の件数及び発生量は減少傾向にはあります。

今後、宇和島地区においては南予地方局不法投棄防止対策推進協議会と連携を密にしながら、不法投棄防止活動に積極的に取り組んで参ります。

宇和島地区

平成30年度　「ぼくのゴミどこ行くの？」教室開催

宇和島地区では、環境意識の普及啓蒙活動として南予地域の小学校の児童たちに身近な地域の環境問題について理解を深め、環境保全活動への積極的な参加を育む取り組みとして、平成30年10月４日㈭松野町立松野西小学校において、４年生の児童19名を対象に「ぼくのゴミどこ行くの？」教室を開催いたしました。

宇和島保健所の角田様に講師をお願いいたしまして、10時20分から11時05分まで45分間の環境教室を行い、「ゴミはどうやってできるの？」、「ゴミはどこへ行くの？」、「わたしたちには何ができるだろう？」、「ゴミを適正処理することが大切！」について、児童たちに分かりやすく講演をしていただきました。また、「ゴミについてのクイズ」では、多くの児童が積極的に発表を行い、児童たちも地域の身近な環境問題として関心をもって受講していただきました。

児童からは、「ごみを適正処理しないと土や地下水、川、海がよごれる」、「買物にはマイバックを持っていきたい」、「リデュース、リユース、リサイクルの３Ｒを守りごみを減らしたい」など、多くの感想をいただきました。児童たちは「環境を守るため大切さ」を環境教室で学び、身近にあるごみの処理や有効利用など自分たちの生活との関わりを理解し、ごみの減量やリサイクルなど児童たちが協力できることを考えて、環境保全活動に取り組まれることと思います。

今後も、環境意識の普及啓蒙活動として南予地域の小学校で開催する予定です。

産業はいき物協会のみなさんへ

先日は、環境を守るために大切なことを教えていただいてありがとうございました。わたしが初めて知ったことは、ゴミ処理車が環境センターに着いたら一番先にすることです。今度ゴミの重さがどれぐらいなのか調べてみたいです。ペットボトルは服の材料となっている物もあると知ってすごいと思いました。

一般はいき物最終処分場は、20年でまんぱいになるということを聞いてびっくりしました。

わたしは、これからごみをなるべくふやさないようにして生活していきたいです。そのためにしっかりと分別したいです。

松野西小学校 4年

産業はいき物協会のみなさんへ

先日は、環境を守るために大切なことを教えていただきありがとうございました。環境センターでは1日に約120トンのゴミをもやしていると聞きました。わたしは、たくさんの人がたくさんのゴミをすてていることが分かりました。そのためにも、3Rは大切なことです。わたしは、ものが便利になることでゴミがふえるのではと考えました。昔の人は、買い物でもかばんを持って行き、冷ぞう庫もあまり冷えないから早く食べていました。今では、ビニールぶくろがあるし、冷ぞう庫もよく冷えるからゴミが多いんだと思います。

これからは、3Rのとくにリサイクルを守っていきたいです。

松野西小学校 4年

産業はいき物協会のみなさんへ

先日は、環境を守るために、大切なことを教えていただいてありがとうございました。鉛なべが、844億円分ぐらい捨てられていることを知ってびっくりしました。他には、お店のビニールぶくろは、305億まいぐらい使われていることが分かってよかったです。

ぼくはこれからお母さんと買い物に行く時は、マイバックを、持って行こうと思いました。

本当にありがとうございました。

松野西小学校4年

産業はいき物協会のみなさんへ

先日は、環境を守るために大切なことを教えていただいてありがとうございました。

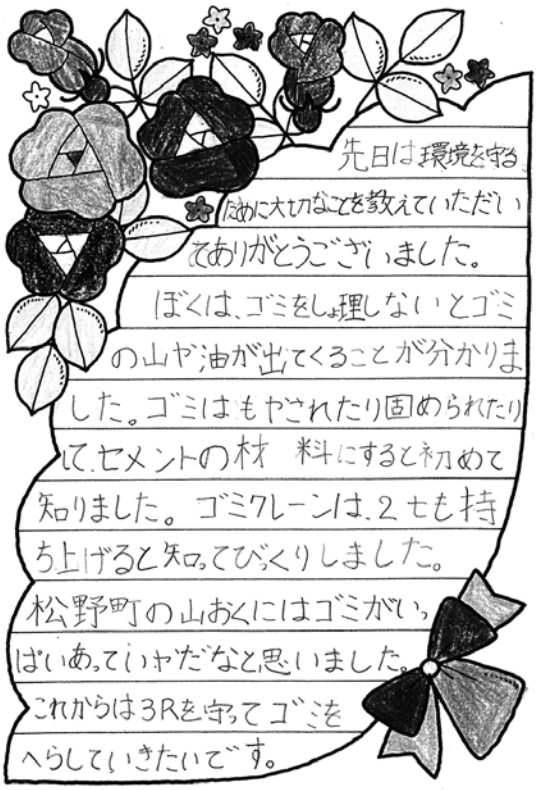
ぼくは、3Rという言葉が大切だということが分かりました。ごみクレーンは、子どもを24人つかめるぐらい大きいことがびっくりしました。びんは色で分別していることを初めて知りました。レジぶくろは、1年で305億まいもでていることがびっくりしました。

なのでマイバックを使おうと思いました。

これからはごみをへらすようにがんばりたいです。

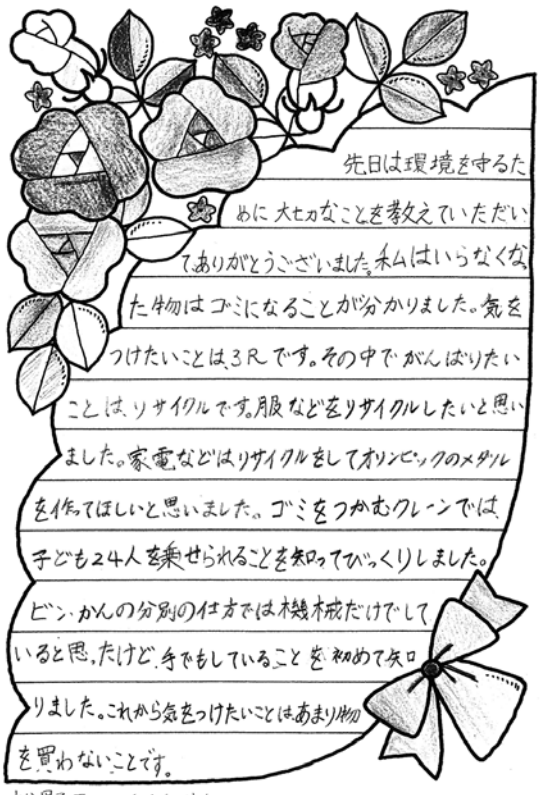
松野西小学校 4年

産業はいき物協会のみなさんへ



松野西小学校4年

産業はいき物協会のみなさんへ



松野西小学校4年

ぼくのゴミどこ行くの？

☆クイズプリント☆

年　　名前

1．「宇和島地区広域事務組合 環境センター」では、集めてきた「びん・カン」はどのように分別しているでしょう？

ア．すべて機械で分別している

イ．機械を使いながら、人が手作業で分別している

ウ．分別していない

2．このまま、ゴミを出しつづけると、日本の「一般廃棄物 最終処分場」が満杯になるまであと何年でしょう？

ア．　２０年

イ．　５０年

ウ．１００年

3．わたしたちができる「リデュース」（ゴミそのものを減らすこと）で次のうち、間違っていることは どれでしょう？

ア．洗剤がなくなったら、容器は捨てずに詰め替えをする

イ．買い物には、いつもマイバッグを持っていく

ウ．食べきれなかった料理を捨てる

4．メモ